



1年学年だより

発行日:令和6年 11月29日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:星野 浩 NO.7

生徒会役員選挙が行われました！

11月19日(火)に新生徒会本部役員を選出する立会演説会が行われました。今年度は Google Meet を活用して演説会が実施されました。画面上を通して、全校生徒の前に立って話をするのは、とても勇気のいることです。候補者たちにとって、それぞれの想いを熱く、そして丁寧に伝える素晴らしい場となりました。その言葉を聞く生徒たちの眼差しも真剣そのもの。同日に投票した結果、次期生徒会本部役員が以下の通り決定しました。

【12期 新生徒会役員】

生徒会長

役 員



12期生徒会本部役員の皆さん

今年度、生徒会本部は「 掴め！君の大チャンス 」という生徒会目標を掲げ、全校生徒が身近にあるコミュニケーションの機会を見逃さず、積極的に関わり合えるように努めています。南高祭展示の部では、高校生と協力してスタンプラリー活動を行いました。また、例年は年に1回の開催となっていた全校交流イベントを年4回実施し、継続的な関わりの場を設けています。9月の70周年・10周年記念イベントの際にも全校イベントを実施しました。12月から3月までの4カ月、現役員と新役員がともに活動することで、生徒会活動の引継ぎとパワーアップを目指していきます。

今後、本部役員が附属中生の代表として活動していきますが、附属中学校を作っていくのは全校生徒のみなさんです。これまで、附属中の先輩方が積み重ねてきた伝統を引き継ぎつつ、より良い学校にしていけるために、一人ひとりが学校生活について、考えていくことが必要とされてきます。さまざまな生徒会活動(各種委員会活動や、クラスの係活動、学校行事など)の一つひとつがみなさんにとっての成長のチャンスです。創意工夫のある生徒会活動を通し、附属中生が心身ともにより大きく、たくましく成長することを願っています。



生徒会本部役員の皆さん

図書館のお二人に話を伺いました

校長代理 中澤 務

11月5日から、昼休みの時間に南高図書館で「ビブリオバトル！」が行われました。各学年の代表者2名が、図書館にある本の紹介を3分間で行い、1分間のディスカッションののち、「どの本が読みたくなったか」集まった人に挙手してもらい、チャンプ本が決まります。（ちなみに公式ルールは本の紹介5分、ディスカッション2～3分。公式ルールがあることを初めて知りました…。）前日のチャンプ本がすぐに借りられていたりして、生徒の皆さんのビブリオバトル、そして読書への関心が高いことがわかります。図書委員の皆さん、ビブリオバトルの運営ありがとうございました。

ビブリオバトルを終えた図書館で、学校司書の先生、高校司書の先生にお話を伺いました。

中：お二人はどうして学校司書や司書を目指されたのですか。

高：もともと本が好きだったのと、人と関わる仕事がよかったので、以前は企業に勤めていたのですが、たまたま学校司書の仕事を見つけて、という感じです。

小：母と公共図書館に初めて行ったとき、こんなにたくさん本を全部読んでいいんだ、と感動したことを覚えています。子どもの頃、学校の図書室は鍵が閉まっている場所でした。学校図書館がいつでも使える場所になったらいいなあと思っていました。学校の先生にもなりたかったし、学校図書館で仕事ができるのは夢が叶ったともいえます。

中：ビブリオバトルは前からやっているんですね。図書委員の本の紹介は素晴らしかったです。

小：何を言うか1人で決め、勝ち上がって注目を浴び、みんなの前で語るとというのがよい経験になると思います。勝ち上がる本を決めて、そのための主張が見られます。

中：南高・南高附属中の生徒の図書館利用はどんな感じですか？

高：中学生では、今年度すでに250冊以上借りて読んでいる人がいます。長期休みの前も、シリーズなど10冊まとめて借りていく人もたくさんいます。読む力がある生徒が多いなと思います。

中：！それはすごい！驚きました。図書館の利用について、生徒に期待することはありますか？

高：このような恵まれた図書館の環境です。中・高合わせた蔵書はとても幅広く、多くあるので、ぜひいろんな本に出会ってほしいし、興味をもってもらいたいです。もしかしたら、将来の進路を見つけるきっかけになるかもしれません。また、本の配列は他の図書館もほぼ同様なので、検索機を使ったりしながら、ここで生涯にわたって図書を検索する力もつけてほしいと思っています。

小：図書館がふらっとくる場であってほしい。息抜きするスペースでもあるし、学習のスペースでもあります。南高・南高附属中の生徒は薦めなくてもよく読んでくれますね。授業でも活用してほしいと思っています。どれだけインターネットが普及しても、紙媒体、本はなくならないと思っています。さらに図書館を活用してもらえよう願っています。

中：お話しいただきありがとうございました。知の拠点として、安らぎの場所として、南高図書館の活用に一層期待しています。

